

## 初出式と七草粥

徳地 恵男

令和3年の初出式は1月7日。コロナ感染拡大の心配があったが71名の元気な顔が集まった。例年は餅つきがあり祝い酒も振舞われるが、今年は七草粥だけになる。粥にいれる



七草の用意は、毎年花班に担当していただいている。朝の打合せの後、集める草の名前と特徴を確認し、班員みんなで採集した。セリ、ナズナ、ゴギョウ(ハハコグサ)、ハコベラ(ハコベ)、ホトケノザ、スズナ(カブ)、スズシロ(ダイコン)の七草。田畑の畔や水路を探しながら、地面に這うように生える野草を花班の皆さんに集めていただいた。午前中の作業の後半になると雲が厚くなってきた。ベースキャンプに集まるころにはみぞれ混じりの雨となった。天気

の回復を待つがそのままお昼の時間になった。粥ができあがり、最後に七草を入れる。

「お粥ができたよ」の声。寒さの中熱々の七草粥を頂い



た。湯気とともに若菜のいい香りがする。外は寒いですが体の中は温まる。そして心の中も。今年一年健康で過ごせますように、「ならやま」の豊作も願って美味しい粥を堪能した。

## 10年継続会員 記念植樹式

徳地 恵男

今年の10年継続会員は、大澤教男さん、木村宥子さん、桜木晴代さん、四宮憲一郎さん、

杉本登さん、杉山耕二さん、田中克治さん、平川宏和さん、平田和子さん、平田範光さん、藤田秀憲さんの方々。

雨天順延となって14日の午後実りの森で行われた。参加者全員がイベントキャップを被って集まる。司会進行は富井さん。11名の名前が紹介され、鈴木会長から「入会された平成22年は市民参加型の活動団体が変わっていった頃。それぞれが力を十分発揮していただいた」と挨拶がある。続いて10年継続者を代表して平田範光さんが「80歳まで続けたいので、みなさんよろしく」と話された。「富有柿」の苗と小島さん手作りの銘板が贈られ、今年で3本目となる富有柿の苗が継続会員によって植樹された。



高さ約1.5mの立派な苗木である。数年経って美味しい柿の収穫を楽しみにしたい。

10年継続して会と共に過ごされた方々から感想を聞いてみた。

「10年は結構早く過ぎました。怪我をして休んだ時もあったけれど、みんないつも通り優しく迎えてくれました。主人と一緒にいたことも大きい。『行こう』と言ってもらえて続けられたところがあった」。

「前はもう少しのんびりするところがあって、どこのグループにも行った。工作をつくったり林内を歩いたりもした。今は人数が増えてそれが難しい。忙しくなっているように思う」。

「10年間楽しんでできました。役をもっていただき準備もしていただいて、この会の活動を楽しませてもらっている。ありがたいことです」。